



## 2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

東

上場会社名 株式会社バリューデザイン 上場取引所  
 コード番号 3960 URL <https://www.valuedesign.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)尾上 徹  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画部長 (氏名)稲垣 智史 (TEL)03(5542)0088  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	558	16.1	0	△95.3	△4	—	△8	—
2019年6月期第1四半期	481	17.5	2	—	0	—	0	—

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 △7百万円(—%) 2019年6月期第1四半期 △1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	△5.65	—
2019年6月期第1四半期	0.51	0.49

(注) 2020年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	1,104	704	62.8
2019年6月期	1,203	708	58.2

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 693百万円 2019年6月期 700百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,295	11.1	53	—	43	—	1	—	0.68

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期1Q	1,469,500株	2019年6月期	1,469,500株
2020年6月期1Q	77株	2019年6月期	77株
2020年6月期1Q	1,469,423株	2019年6月期1Q	1,466,222株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

機関投資家・アナリスト向けの説明会は当社第1四半期では開催しませんが、決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は、初期売上が前年同期比34.3%増、システム利用料売上が前期比7.3%増となり、総売上高は558,847千円(前年同期比16.1%増)となりました。販売費及び一般管理費は、前期に実施したオフィス移転及び人員増加による固定費の増加、システム利用料売上増加に伴う代理店手数料の増加等により20.4%増となりました。その結果、営業利益は138千円(前期は営業利益2,948千円)となりました。

当社グループの所属する電子決済市場においては、キャッシュレス決済の普及を目的とした政府の方針を背景に各種決済サービス事業者やFintech企業、大手金融機関が相次いで関連サービスを開始しているほか、大手流通業やサービス事業者等のキャッシュレス決済事業への参入も活発化しております。また、2019年10月から開始される「キャッシュレス・消費者還元事業」に向けても各種決済事業者・加盟店の参加準備が進んでおり、市場は引き続き活況の様相を呈しております。

このような状況のもと、当社グループが事業展開している「バリューカードASPサービス」も、引き続き導入企業数、店舗数を伸ばしており、2019年9月末時点で導入企業数724社、導入店舗数70,670店舗へと増加しております。

2019年7月より開始したQR等のコード決済事業者との接続・中継サービス(ゲートウェイサービス)は、当第1四半期中に5件のコード決済との接続を追加し、2019年9月末時点での接続可能なQR等コード決済は7件となっております。同サービスは今後も接続先及び導入企業を追加していくとともに、QR等コード決済からのハウスプリペイドへのチャージ対応など、ハウスプリペイドとコード決済を連携させた売上拡大の支援を検討しております。また、他にもハウスプリペイド会員の情報と利用データを分析し、顧客属性や購買動向に合わせたクーポンや来店促進を自動的に行うソリューションの提供など、ハウスプリペイドをより効果的に活用する取り組みも開始しております。

その他、2019年10月より開始の「キャッシュレス・消費者還元事業」への当社顧客企業の参加支援サービス(申請代行)を行っており、2019年10月以降、30社超の同事業への参加が決定しております。

なお、ゲートウェイサービス及び「キャッシュレス・消費者還元事業」の参加支援サービスによる収益は当第2四半期以降が中心になる見込みですが、具体的な収益規模についてはそれぞれ、市場環境や制度の内容から見通しを立てることが困難であるため、僅少としております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ハウスプリペイドカード事業

ハウスプリペイドカード事業においては、スーパーマーケット・ドラッグストア・ホームセンター等でのサービス稼働が引き続き好調であったことに加え、前期投資による営業体制の強化もあり、初期売上が好調であったことから売上高は前年同期比19.3%増となりました。

販売費及び一般管理費は、営業を中心とした人材採用、オフィス移転など前期に実施した施策による固定費の増加があったほか、システム利用料売上の伸長に伴う代理店手数料の増加などの影響から、前期比34.5%増となりました。

この結果、当セグメントの売上高は520,781千円(前期比19.3%増)、セグメント利益(営業利益)は83,142千円(前期比7.5%増)となりました。

#### ② ブランドプリペイドカード事業

当セグメントにおいては、前連結会計年度から引き続き既存イシュー(カード発行会社)とその提携先(注)を中心に事業を行っております。既存案件の利用は安定的に推移しておりますが、前第4四半期に生じた既存サービスの一部縮小の影響、及び2019年7月・8月は入金・利用とも例年に比べてやや減少したことから、売上高は前期比15.0%減となりました。

この結果、当セグメントの売上高は38,066千円(前期比15.0%減)、セグメント損失(営業損失)は6,896千円(前期はセグメント損失3,554千円)となりました。

(注) 提携先とは、カード発行会社(イシュー)が運営する資金決済サービスを利用して、事業者自らの顧客(会員組織等)に対してプリペイドカード、会員カード等のサービスを行う事業者のことを指します。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高558,847千円(前年同期比16.1%増)、営業利益138千円(前期は営業利益2,948千円)、経常損失4,884千円(前期は経常利益284千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失8,306千円(前期は親会社株主に帰属する四半期純利益752千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて98,758千円減少し、1,104,713千円となりました。これは主として、現金及び預金が86,912千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて94,194千円減少し、400,649千円となりました。これは主として、買掛金が21,517千円、未払金が74,671千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて4,563千円減少し、704,064千円となりました。これは主として、新株予約権が2,546千円増加し、親会社株主に帰属する四半期純損失8,306千円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、現時点では2019年8月14日に発表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	403,757	316,844
売掛金	316,363	330,556
たな卸資産	4,474	21,727
その他	74,267	57,558
貸倒引当金	△2,938	△3,173
流動資産合計	795,924	723,513
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	33,511	31,964
工具、器具及び備品（純額）	142,644	134,834
リース資産（純額）	53,967	43,555
建設仮勘定	—	2,340
その他（純額）	1,799	1,763
有形固定資産合計	231,923	214,457
無形固定資産		
ソフトウェア	57,384	66,805
ソフトウェア仮勘定	11,976	—
その他	150	145
無形固定資産合計	69,511	66,950
投資その他の資産		
敷金及び保証金	67,407	66,325
繰延税金資産	24,622	21,836
その他	14,582	13,616
貸倒引当金	△500	△1,986
投資その他の資産合計	106,112	99,792
固定資産合計	407,547	381,200
資産合計	1,203,472	1,104,713

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	107,337	85,820
1年内返済予定の長期借入金	20,080	15,085
リース債務	24,606	23,702
未払金	145,164	70,492
未払法人税等	7,504	4,294
その他	30,976	47,192
流動負債合計	335,668	246,586
固定負債		
長期借入金	150,000	150,000
リース債務	7,396	2,223
退職給付に係る負債	1,779	1,839
固定負債合計	159,176	154,062
負債合計	494,844	400,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,776	704,776
資本剰余金	696,738	696,738
利益剰余金	△700,199	△708,506
自己株式	△255	△255
株主資本合計	701,060	692,753
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△272	1,126
その他の包括利益累計額合計	△272	1,126
新株予約権	7,638	10,184
非支配株主持分	201	—
純資産合計	708,627	704,064
負債純資産合計	1,203,472	1,104,713

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	481,324	558,847
売上原価	270,962	308,941
売上総利益	210,361	249,906
販売費及び一般管理費	207,412	249,767
営業利益	2,948	138
営業外収益		
受取利息	6	82
為替差益	449	—
その他	0	68
営業外収益合計	456	151
営業外費用		
支払利息	2,794	2,672
為替差損	—	2,501
その他	326	0
営業外費用合計	3,120	5,174
経常利益又は経常損失(△)	284	△4,884
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	284	△4,884
法人税、住民税及び事業税	2,041	837
法人税等調整額	—	2,786
法人税等合計	2,041	3,623
四半期純損失(△)	△1,756	△8,508
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,509	△201
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	752	△8,306

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,756	△8,508
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	602	1,398
その他の包括利益合計	602	1,398
四半期包括利益	△1,154	△7,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,289	△6,908
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,443	△201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	ハウスプリペイドカード事業	ブランドプリペイドカード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	436,560	44,763	481,324	—	481,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	436,560	44,763	481,324	—	481,324
セグメント利益又は損失(△)	77,348	△3,554	73,794	△70,845	2,948

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△70,845千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	ハウスプリペイドカード事業	ブランドプリペイドカード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	520,781	38,066	558,847	—	558,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	520,781	38,066	558,847	—	558,847
セグメント利益又は損失(△)	83,142	△6,896	76,246	△76,107	138

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,107千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。